

# コスメ推薦におけるコスメレビューを用いたメイクパターンの特性分析と可視化

小川 芽来\* 牛尼 剛聡† 角谷 和俊\* (\*関西学院大学, †九州大学)

## 問題

- 流行により新しいメイクパターンが生まれる
- 多数のメイクパターンから適するものを見つけるのが困難
- メイクパターンのイメージを言語化するのが困難

## 研究目的

コスメレビューを用いてメイクパターンの特徴を抽出し、メイクパターンの関係を可視化

## コスメアイテム推薦の流れ(最終目標)

- Step1:メイクパターンを推薦  
Step2:メイクパターンに使用するコスメアイテムを推薦

## 提案手法

- ①メイクパターン名が含まれるコスメレビューを収集【1】アットコスメ
- ②コスメレビューに対して形態素解析を実行
- ③出現頻度の高い名詞/形容詞の上位15個を抽出  
(明らかに関係のない名詞・形容詞は除外)
- ④抽出した名詞・形容詞の出現頻度から主成分分析を実行
- ⑤寄与度が高い主成分を用いて2次元平面上に可視化  
【1】アットコスメ <https://www.cosme.net>

## 予備実験

対象 (10メイクパターン)(2コスメアイテム[アイシャドウ/リップ])  
(20コスメレビュー)(名詞/形容詞 各15個)

アイシャドウ名詞/形容詞      リップ名詞/形容詞

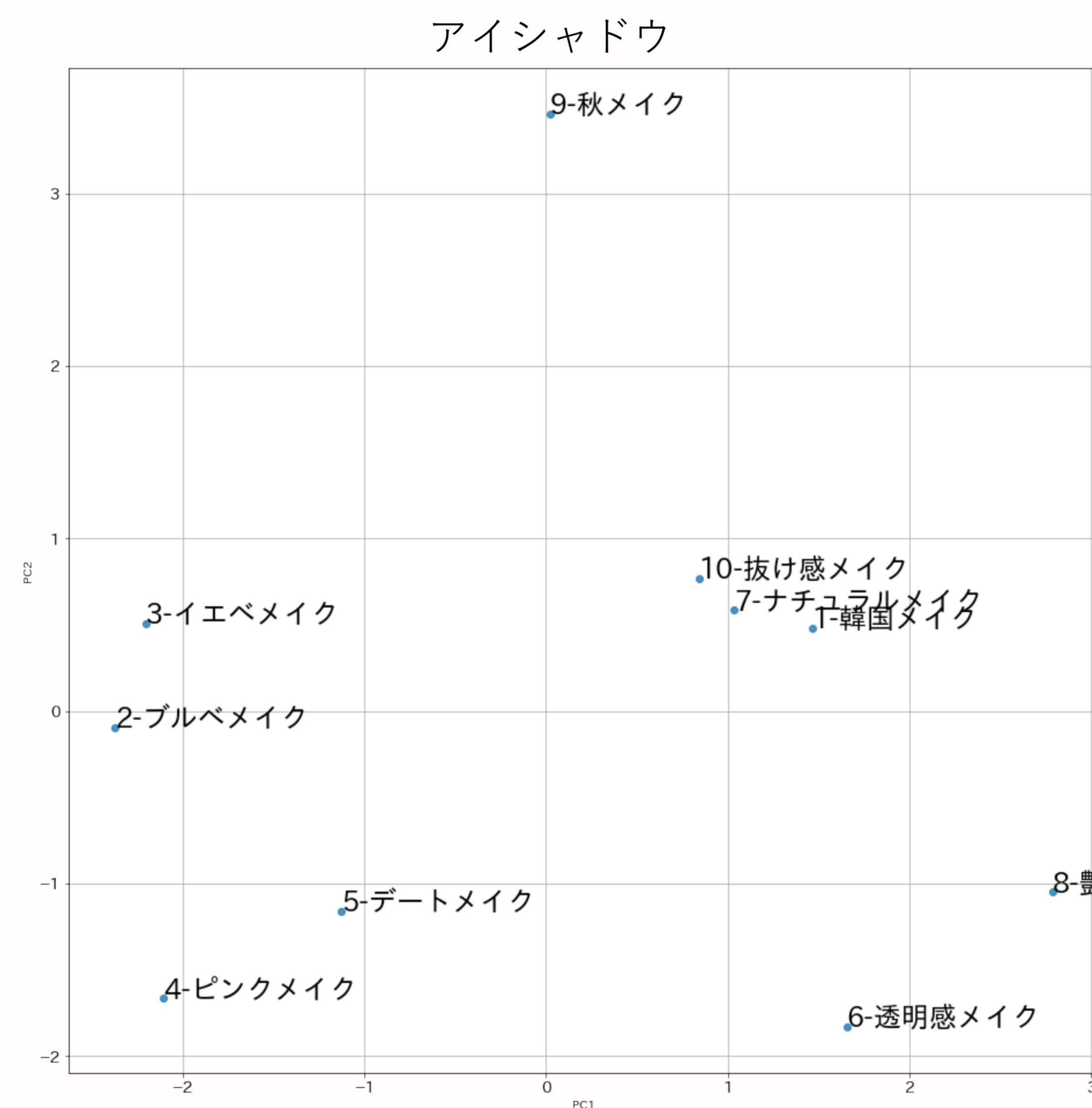
10メイクパターン

1	韓国メイク
2	ブルベメイク
3	イエベメイク
4	ピンクメイク
5	デートメイク
6	透明感メイク
7	ナチュラルメイク
8	艶メイク
9	秋メイク
10	抜け感メイク

1	ラメ	16	可愛い
2	ピンク	17	濃い
3	発色	18	薄い
4	ブラウン	19	強い
5	オレンジ	20	明るい
6	マット	21	淡い
7	粉	22	かわいい
8	目元	23	柔らかい
9	ブルベ	24	難しい
10	綺麗	25	楽しい
11	パール	26	優しい
12	ベージュ	27	美しい
13	イエベ	28	細かい
14	透明	29	大人っぽい
15	艶	30	暗い

1	ピンク	16	可愛い
2	イエベ	17	濃い
3	ベージュ	18	明るい
4	ブラウン	19	薄い
5	マット	20	かわいい
6	オレンジ	21	嬉しい
7	秋	22	可愛い
8	綺麗	23	甘い
9	青み	24	暗い
10	春	25	優しい
11	ツヤ	26	淡い
12	レッド	27	嬉しい
13	ローズ	28	大人っぽい
14	赤	29	みずみずしい
15	ナチュラル	30	若い

著者の  
主観との  
一致/不一致

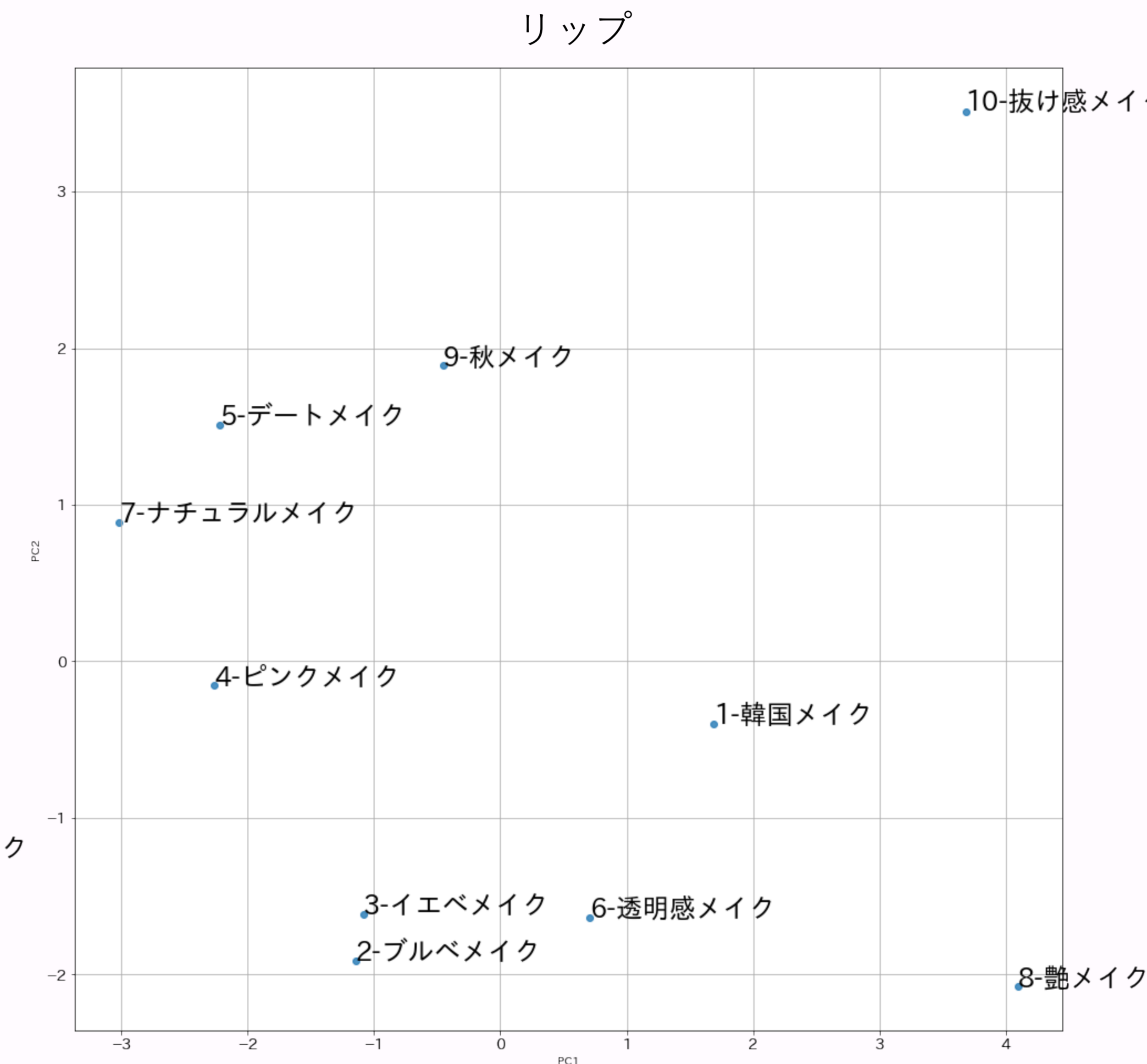


一致

[デートメイク][ピンクメイク] (近い)  
[韓国メイク][抜け感メイク] (近い)  
[透明感メイク][艶メイク] (近い)

不一致

[イエベメイク][ブルベメイク] (近い)

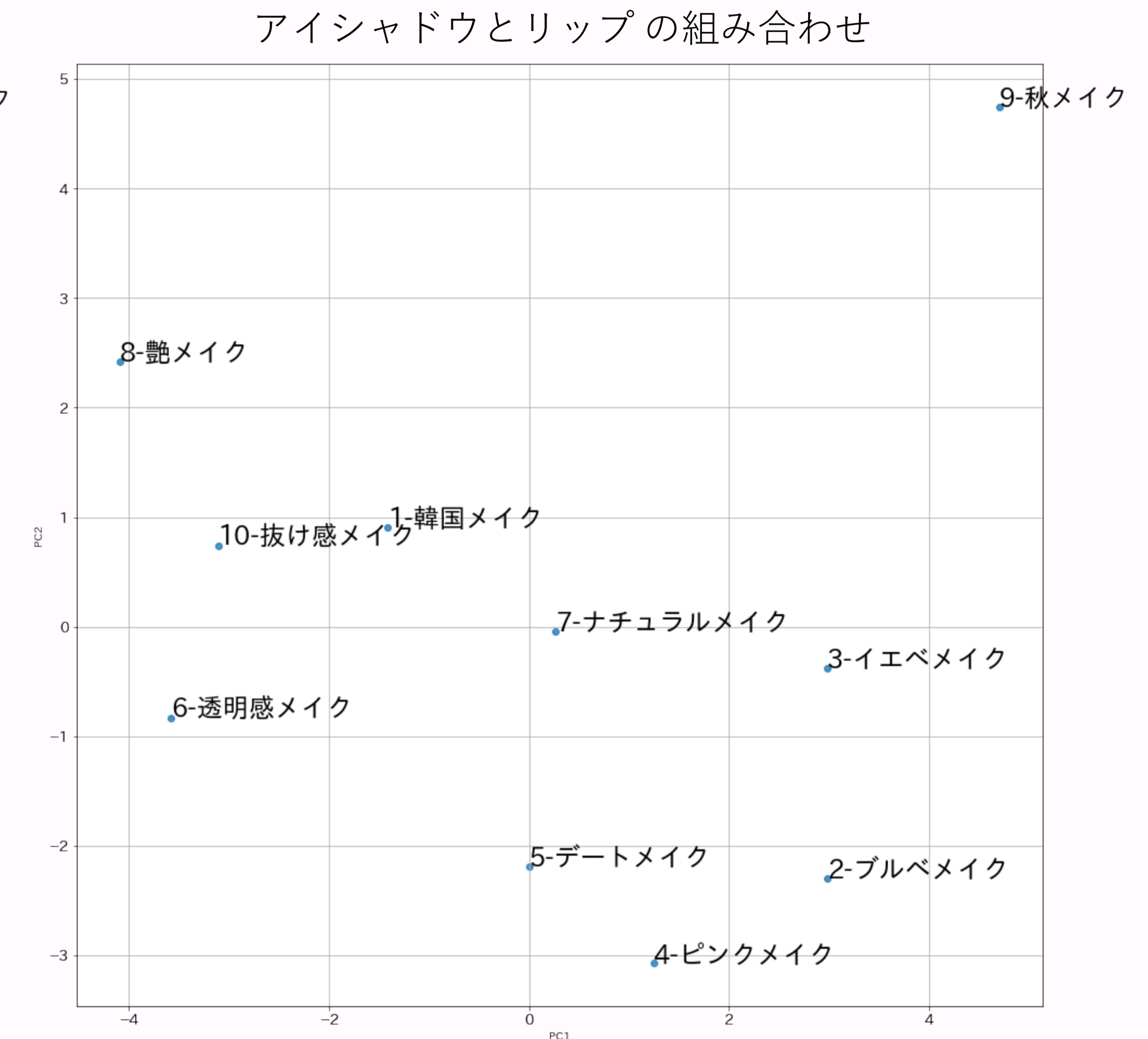


一致

[透明感メイク][ブルベメイク] (近い)

不一致

[イエベメイク][ブルベメイク] (近い)  
[デートメイク][ナチュラルメイク] (近い)



一致

[デートメイク][ピンクメイク] (近い)  
[韓国メイク][抜け感メイク] (近い)

不一致

[透明感メイク][ブルベメイク] (遠い)

## 今後の課題

- 名詞/形容詞の抽出方法を変更
- 他のメイクアイテムでも計算を実施
- 他のメイクパターンでも計算を実施
- 対象コスメレビューを増やして計算を実施

## 参考文献

小川芽来 牛尼 剛聡 角谷和俊, "コスメ推薦におけるメイクパターンの特性分析と可視化", 第22回情報科学技術フォーラム (2022) D-013  
谷口 祐奈 奥田 麻美 上田 真由美 シリアラーヤバノット 中島 伸介, "各コスメアイテム分類に対する評価表現辞書構築の効率化", 第35回ファジィシステムシンポジウム (2019)  
松波 友稀 上田 真由美 中島 伸介, "コスメアイテムに対する評価項目別レビュー自動スコアリング方式の開発" 人間福祉研究, 情報処理学会 Forum 2017 (2017)